

いとまん 市議会だより

第116号

令和2年
9月7日発行

- = 令和2年第3回 (6月) 定例会 =
- = 令和2年第4回 (7月) 臨時会 =
- = 令和2年第5回 (8月) 臨時会 =



令和2年
7月11日(土)

いとまんまちぐわー
糸満市場 いとま〜るが
グランドオープンしました!!



令和2年第3回(6月)定例会

第3回定例会は、6月10日から6月29日までの20日間の日程で開催されました。同定例会には、市長から令和2年度一般会計補正予算(第3号)などの議案6件及び報告6件の提出がありました。

また、議員提出議案として意見書4件の提出がありました。

議案等の処理結果については、12ページに掲載してありますので、御参照ください。

令和2年度一般会計補正予算(第3号)

本案は、歳入歳出予算の総額にそれぞれ6億9744万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ359億9932万円とするものです。主な事業は次のとおりです。

- 観光防災力強化事業 1194万円
- 戸籍附票システム改修事業 1070万円
- 糸満市認可外保育施設新型コロナウイルス感染症対策助成金 1409万円
- 放課後児童クラブ事業 3081万円
- 相談支援体制強化事業 436万円
- 園芸産地機械整備事業 6644万円
- 飲食店応援商品券事業 1722万円
- 道路環境美化対策事業 600万円
- 特殊地下壕可能性調査事業 9926万円
- 運動公園施設整備事業 5000万円

- 新型コロナウイルス感染症対策(衛生環境改善)事業 2億1062万円
- 名城遺跡緊急発掘調査事業 3351万円
- 学校給食地域食材購入支援事業 8000万円



給食への地元産品の利用促進により、市内事業者の支援が図られる

糸満市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について

本案は、新型コロナウイルス感染症に感染するなどした被保険者に対して、傷病手当金の支給をするために必要な申請事務を追加するため、条例の一部を改正するものです。

財産の取得について(災害対応特殊屈折はしご付き消防ポンプ自動車)

本案は、消防車購入事業において、災害対応特殊屈折はしご付き消防ポンプ自動車を取得するにあたり、その予定価格が2000万円以上となることから、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により、議会の議決を求められたものです。



整備される予定の災害対応特殊屈折はしご付き消防ポンプ自動車(イメージ写真)

豊見城市区域への糸満市公共下水道施設(雨水管)の区域外設置について

本案は、豊見城市区域への糸満市公共下水道施設(雨水管)の区域外設置について、協議をするためには、地方自治法第244条の3第3項の規定により、議会の議決が必要であることから、提案されたものです。

専決処分の報告について(工事請負契約の変更(農業集落排水汚水処理施設電気・機械設備工事その3))

本報告は、令和元年6月28日に原案可決された農業集落排水汚水処理施設電気・機械設備工事その3の工事請負契約について、契約価格を変更する必要があるため、地方自治法第180条第1項の規定により、令和2年3月25日に専決処分を行ったので、同条第2項の規定により議会に報告されたものです。



市議会議員補欠選挙について

令和2年6月7日に行われた市議会議員補欠選挙で高江靖氏が当選しました。

また、6月10日に常任委員の選任が行われました。
○高江靖 経済建設委員



当選証書を受け取る高江靖議員

●常任委員の所属変更●

7月1日付で常任委員の所属を変更しました。

- 玉村清 経済建設委員
- 高江靖 民生委員

令和2年第4回(7月)臨時会

第4回臨時会は、7月17日に開催され、市長から、副市長の選任などの議案2件の提出がありました。

また、議員提出議案として意見書及び決議1件の提出がありました。

議案等の処理結果については、12ページに掲載してありますので、御参照ください。

副市長の選任について

本案は、神谷和男氏を副市長に選任するため、地方自治法第162条の規定により議会の同意を求められたものです。

糸満市教育委員会教育長の任命について

本案は、幸地政行氏を教育長に任命するため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定により議会の同意を求められたものです。

令和2年第5回(8月)臨時会

第5回臨時会は、8月3日に開催され、市長から、令和2年度一般会計補正予算(第4号)などの議案2件の提出がありました。

また、議員提出議案として意見書1件の提出がありました。

議案等の処理結果については、12ページに掲載してありますので、御参照ください。

令和2年度一般会計補正予算(第4号)

本案は、歳入歳出予算の総額にそれぞれ5億9897万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ365億9830万円とするものです。主な事業は次のとおりです。

- ひとり親世帯臨時特別給付金 1億3509万円
- ひとり親世帯臨時特別給付金(緊急対策事業分) 1650万円

○新生児特別定額給付金(緊急対策事業分) 4026万円

○市立小中学校GIGAスクール環境整備事業 3億7799万円



市立小中学校の児童生徒に1人1台端末が整備される

特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について

本案は、新型コロナウイルス感染症拡大により地域経済や市民生活等が多大な影響を受けていることから、特別職の給料を削減しコロナ対策の財源に充てるため、条例の一部を改正するものです。

○9月定例会を傍聴される方々へのお願い

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、議会の傍聴を希望される方々におかれましては、次のことについて御協力のほど、よろしくお願いいたします。

- 咳エチケット、マスク着用等の感染予防をお願いいたします。
- 傍聴席入口前のアルコール消毒液にて手指の消毒、または手洗い等をお願いいたします。
- 発熱、風邪症状などで体調が優れない方は傍聴を御遠慮願います。
- 糸満市議会のホームページから本会議の映像が視聴できます。

市政をたたく

一般質問

令和2年第3回定例会では、6月18日、19日、22日、24日の4日間にわたり、16人の議員が一般質問を展開しております。質問については、1人1項目を要約して紹介しております。詳しい内容につきましては、市議会事務局や市立中央図書館に備えてあります会議録を御覧ください。なお、会議録は市議会ホームページからも御覧頂けます。

①ロゲイニング大会の事業内容を伺う。②本市の事業として誘致できないか伺う。
市民健康部長 ①いとまんロゲイニング大会実行委員会により、平成30年度にプレ大会を開催し、令和元年度は糸満市市民提案型まちづくり事業補助金を活用し開催されている。同大会は地域活性化などの付加価値をつけたフォトログエイニングとして、地図上にある様々なチェックポイントを制限時間内にチームで協力しながら探し出し、事前に決められたポーズで写真を撮影し合計得点を競うスポーツである。本市の新たな発見ができる。同時にゲーム性もあり、楽しく参加者の健康増進も図られる大会となった。
企画開発部長 ②本市の魅力とする自然・食文化等の連携

いとまんロゲイニング大会について



金城 悟 議員



令和元年に行われた第1回大会の様子

による新たな観光資源として参加者の周遊性と滞留性が図られることから、本市の事業としての誘致については、大会実行委員会と意見交換を図りながら検討していきたい。
金城 平成30年度、令和元年度に参加した人数は。
市民健康部長 平成30年度は26チームで70名、令和元年度は34チームで90名の参加があった。
金城 参加者からは「楽しかった」などのいい言葉ももらったと思う。今は市民提案型の事業だが、市の事業として、本市の活性化のために取り組んでもらえるようお願いしたい。

安全安心な環境行政について



金城 寛 議員

下水道幹線の維持管理について。①浜原都市下水路(阿波根西原)、②白川幹線(潮平地区)、③兼城3号幹線(兼城交差点付近) 市道浜川線起点側の冠水問題対策について進捗状況を伺う。④下水道幹線に地区外から流れてくる土砂等への対応について。⑤今後の整備計画について伺う。
水道部長 ①②上流の畑や山林から草木等が流れてきて排水呑口を塞ぐことがあるため、定期的な巡回清掃を行っている。④集中豪雨後には濁流と一緒に流れてくるごみ等が多く、そのたび除去している。
建設部長 ③昨年度概略設計を行った。次年度、実施設計の申請を行っていく。
市民健康部長 ④定期的な巡回パトロールを行うとともに



冠水時の兼城交差点付近の様子

に、市民に対して不法投棄防止に関する周知啓発を行っていく。

経済部長 ⑤白川原河川の整備または土地改良区内既存幹線水路の機能保全を目的とした補助事業が適用できないか、関係機関と協議していく。

金城 「梅雨期及び台風期における防災態勢の強化について」の内容を伺う。

総務部長 道路利用者への注意喚起や情報提供を適切に行うとともに、事前に標識、情報板等の施設を点検する等の措置を講ずること。施設管理者や所轄の警察、消防は、相互に情報を共有するとともに、連絡体制の確保、通行止め等の措置、救助等に遅れが生じないよう措置を講ずることとなっている。

経済部長 ③民間業者による整備・運営管理を行うPFI事業を選定しており、既に工事が着工されている。④管理はいとまゝる施設管理業者に委託し、使用時間は午前5時から午後7時までとなっている。

金城 駐車場の料金に関して、無料チケットなど利用者

公設市場について



金城 一文 議員

糸満市場いとまゝるについて。①いつからオープンするか。②オープンに向けてどのような問題があるか。③駐車場の設置管理はどうなっているか。④トイレの管理・使用時間はどうなっているか。

市長 ①グラウンドオープンを7月11日に予定している。②新型コロナウイルス感染症対策として密にならない対策や集客対策の誘導看板設置を検討していく。



整備された駐車場

金城 図書館などは駐車場は無料だが、いとまゝるは料金を取る。市としては経費削減になるが、その経費は利用者が負担することになり、おかしいと思うがどうか。

経済部長 いとまゝる専用ではなく周辺店舗も含めた駐車場として考えている。

金城 なるべく市民の負担を減らすような方向で考えていただきたい。

教育行政について



金城 敏 議員

高嶺小中一貫校運動場の計画の進捗状況について伺う。

教育長 高嶺小学校移転改築基本設計検討委員会の第1回目の開催日程が、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今月末に延期となっている。高嶺小中一貫校運動場計画についても、同委員会が審議することになるので、今後の委員会の中で検討していきたい。

金城 つくる前にしっかり地元の見解を聞いて進めてほしいと、部活動関係者から意見があった。例えば、現在のプール側に野球のホームベースを設定すれば、山側の壁を利用してバックネットができ、予算が抑えられる。さらに拡張工事が出た土を生かして、運動場の外周に高低差をつけた



整備予定の高嶺中学校運動場

クロスカントリー走路を造れば、部活動等で学外の道路を走っている生徒の不審者対策や、交通安全上の面からも問題がなくなる。ほかの部活の妨げにもならず、膝などに無理なく鍛えることができる。米須小学校でこういった整備がされ、かなりの実績が上がっていると聞いている。また水がたまりやすい地形なので、水はけの対応も重要だとの意見もあった。これから整備をするわけなので、しっかり地元の見解を聞いて、より有効利用できるように進めていただくよう要望する。



玉城 哲郎 議員

道路行政について

山城交差点で糸豊環境美化センターに向かう車のスピードが速くて危険との話を3月定例会でも取り上げたが、その後の標識設置等の進捗状況を伺う。

市民健康部長 現在、道路管理担当部署が糸満警察署と協議を終え、設置に向けて地域と協議して対処する運びとなっている。なお、「止まれ」などの交通標識の設置については、糸満警察署と協議したところ、現場の状況や交通量等を調査し、検討することになるとの回答を得ている。

哲郎 区長は山城地域の会議で交差点付近の住民に説明し、近隣住民の方はスピードハンブによる音に対しても問題はないということでも理解を得ている。山城の方々はいつ事故が起こるか不安な状態で



交差点の早期の安全対策が求められる

あるため、早急にスピードハンブを設置することはできないか。

建設部長 早急に確認して対応したいと考えている。あと1か月以内に対応できればと考えている。

哲郎 減速させるために市が臨時的に設置している看板について、倒れていたりなくなっていたりする。スピードハンブが設置されるまでの間、市で見回りでできないか。

市民健康部長 スピードハンブ等の設置までの間、看板は重要だと思うので常に見えるような形でパトロールしたい。また、地域の方にも少し御協力頂ければと思う。

哲郎 ぜひ、1か月以内に設置するようお願いする。



玉村 清 議員

上原昭市長の1期4年間の実績について

ジョン万次郎の記念碑の建設、国民健康保険の赤字解消、稲嶺原市営住宅の建設、第一市営住宅の建て替え、特にマチグワの再整備や市民会館の会場の建設、市制50年近く歴代の市長ができなかったことを上原昭市長は4年間で実現してきた。功績は素晴らしなものと思うが、4年間で一番印象に残った実績は何か伺う。

市長 市長就任以来、糸満市を元気に活力ある都市とするために全力を傾注し、いとまん平和トリムマラソンの開催、糸満ロータリー周辺の景観づくりを移行に移し、小中学校の全教室へのクーラー設置など、本市の魅力に磨きをかけてきた。中でも印象深い事業の一つとしては、(仮称)糸満市文化・平和・観光振興



6月定例会で答弁する上原昭市長

センターの実現化がある。建設場所や予算規模の見直し、前市政のよいところは生かす設計内容の変更、市民との対話で計画を策定し、特に大きな課題であった一括交付金の特別枠18億円を粘り強く交渉し獲得することに成功した。そのことは私一人で達成できたものではなく、議員各位の御協力や、共に汗をかいてくれた職員が一人となって取り組んだたまものと感謝している。新市長の下におかれても、市民の期待であるセンターの早期竣工、そしてこの施設等を中心にしてさらなる発展につなげていただくことを心より願っている。



新垣 勇太 議員

沖縄県屋外広告物条例のあらましについて

無許可の広告物の除去について、市の見解を伺う。

建設部長 屋外広告物が無秩序に表示されていると、美しい自然環境、町並みや安全で快適な歩行空間を阻害されるおそれがあることから、沖縄県では沖縄県屋外広告物条例を制定し、屋外広告物について必要なルールを定め、適切な規制や誘導を行っている。本市としては、無許可の広告物について沖縄県と連携を図りながら適正に対応していく。

新垣 今後、県と同様にシールを貼るだけではなく、無許可の広告物に関して撤去してヤードに保管する考えはあるか。

建設部長 違法放置等物件に対する措置は道路法でうたわられており、道路管理者は条件等はあるが、違法放置物等を除去し、保管しなければなら



沖縄県が発行している屋外広告物のルールを啓発するチラシ

ないとなつてきている。なお、交通に危険を及ぼす、またはそのおそれがあると認められる場合は除去を検討していく。

新垣 ただシールを貼って終わりではなく、撤去して取りに来たときに再度注意するなどしていかないといけない。罰則があると思うがもっと厳しくする考えはないか。

建設部長 特段、市条例による罰則の制定は現在予定していない。道路法の罰則規定に基づいて対応していくものと考えている。

新垣 警察と連携しよくするための方向性を生み出してほしい。そういうことが適用できるのかも含め検討頂きたい。



伊敷 郁子 議員

新型コロナウイルス感染症対策について

現在の学校現場の状況について学習環境、感染予防対策、心身のケア等について具体的に伺う。

教育長 学校では国から示された学校再開ガイドラインや「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル（学校の新しい生活様式）」を基に感染予防に努めながら学校運営を行っている。各学校においては休校期間中、課題の配布などで家庭学習を促している。また、学校再開後は課題による補習や必要に応じて補習授業を行いつながり対応していく。

教育委員会総務部長 感染予防対策として、公立小中学校の和式便器の一部を洋式便器へ取替え、トイレ内の手洗い水栓を全て自動手洗い水栓に取替えを行う予定である。



児童生徒のケアや教員の負担軽減を

伊敷 心身のケアが大切だが、どのように対応しているのか。

教育委員会指導部長 先生方は見守りを重点的に意識しながら、朝の健康観察、教育相談、アンケートを取り、気になる子供という形で見守って、安心安全な環境をつくれるように努力している。

伊敷 教師の負担も増えたと思うが、教員数は増えたか。

教育委員会指導部長 人数は増えていない。先生方の負担は、消毒や子供たちのケアも含め業務量が増えているため、今後、スクールサポートスタッフや文科省の補助事業も含めて努力して増やしていく所存である。



金城 幸盛 議員

新型コロナウイルス感染症に関する支援策について

ひとり親家庭への本市独自の支援策として、児童扶養手当の対象となる児童1人につき1万円を支給すべきと考えが見解を伺う。

福祉部長 児童扶養手当の対象となる児童1人につき1万円の支給については、必要性の調査と予算確保も含め、関係部署と調整する。

幸盛 他市の状況を伺う。

福祉部長 1人当たり1万円を支給しているのが那覇市と豊見城市、1世帯当たり1万円を支給しているのが浦添市、1世帯当たり2万円を支給しているのが宜野湾市、1世帯当たり3万円を支給しているのが沖縄市とうるま市である。

幸盛 他市ではひとり親家庭に対し独自の支援策がある



ひとり親家庭への支援が求められる

が、本市では支援を行っていない。現状行う予定もなく、無策である。これについてのどのような見解を持っているか。

福祉部長 6月に国のほうでひとり親家庭に一律5万円の支給がある。これも含めて、関係部署と調整したい。

幸盛 ひとり親家庭の窮状をしっかりと受け止めて、政治判断をする必要がある。市長にこの場で決断してほしいかどうか。

市長 限られた財源の中で、行政、政治は優先順位をつけていく。その優先順位をつけて内容が今回の緊急経済対策となっている。いろんな施策があるが、財政の範囲内で調整して、今後新しい市長において判断していただきたい。



高江 靖 議員

戦争遺跡の保存活用について

沖縄県における調査報告が行われているが、糸満市の考え方を伺う。

教育委員会総務部長 先日、新聞社による沖縄の戦争遺跡に関するアンケート結果等が報道された。戦後75年がたち、沖縄戦の体験者が年々減少していく中、アンケート結果は戦争遺跡の保存活用方法について各市町村が模索する姿を現しているものと考ええる。教育委員会としても市域に所在する戦争遺跡の歴史的価値については、沖縄の歴史の正しい理解のために欠くことのできないものと認識している。

高江 沖縄戦の実相を正確な形で後世に継承するためにも戦争遺跡の保存は絶対に欠かせない。沖縄戦体験者は高齢化が進み、当時の様子を語る

る方々は年々減少の一途である。戦争遺跡を市がしっかりと把握して、行政主体により保存や活用の必要性があると考えるが市の考え方を伺う。

企画開発部長 市においては、平成26年から平成30年までの5年間で一括交付金を活用した糸満市戦争遺構保全・活用整備事業を行っている。その中で比較的良好的な30か所について基礎調査を行い、そのうち10か所について戦争遺構概要版を設置している。今後、残りの遺跡についても、設置されている場所が個人所有の場所もあるので、その辺の同意、地域の合意形成などを図って、活用できる補助事業も含め検討していきたい。



山巔毛に設置された戦争遺構概要版

旧糸満南小学校跡地利用について



玉城 安男 議員

当該跡地の利用状況を伺う。

総務部長 警察署、認定ことも園、市営住宅の建設用地として利用されており、残りの保留地のうち一部の用地については、市道与那堀線潰れ地の代替用地の要望もあることから、保留用地として管理している。

玉城 糸満市土地開発公社の令和元年度決算書の説明の中で、当該跡地の処分状況の説明があった。当該跡地は個人的には市有地だと思っていたのだが、なぜ公社が処分することができたのか伺う。

総務部長 公社への市有地処分に至った経緯については、当該用地の円滑な土地の有効活用を図る観点から有償譲渡による分譲依頼を引き受けた形となっている。

玉城 当該跡地は一般公募で

処分されたのか。

企画開発部長 公社から随意契約で契約したと聞いている。

玉城 随意契約にした根拠は、企画開発部長 地方自治法施行令第167条の2を適用している。その中で契約の性質又は目的が競争入札に適しないものは随意契約できるとあり、地方公共団体の利益の増進につながるという合理的な判断がされる場合は、随意契約できるということである。今回の場合、名城ビーチホテルの寄宿舎建設が雇用促進、税収、観光経済などに効果が見込めるということで、公社は市の利益の増進につながる」と判断し適正に処理している。



旧糸満南小学校跡地

第2期糸満市子ども・子育て支援事業計画について



上原 勝 議員

計画策定の背景と趣旨を伺う。

福祉部長 計画策定の背景と趣旨については、急速な少子化の進行や核家族化は地域の人間関係の希薄化や、家庭や地域での子育て力の低下につながるものと言われており、子育てを社会全体で支援していくことが必要となっている。このような状況の中、国は、次代の社会を担う子供が健やかに生まれ、育成される環境を整備するため、平成15年に次世代育成支援対策推進法を、平成24年8月には子ども・子育て関連3法を制定し、平成27年4月から本格施行した子ども・子育て支援制度の下、質の高い幼児期の学校教育・保育を総合的に提供し、地域の子ども・子育て支援を



昨年度策定された第2期
糸満市子ども・子育て支
援事業計画

充実させ、全ての子供が健やかに成長できる社会の実現を目指してきた。本市は、平成27年3月に糸満市子ども・子育て支援事業計画を策定し、子育て環境の整備に取り組んできた。令和元年度に第1期計画が終わることから、第2期糸満市子ども・子育て支援事業計画を策定し、引き続き、子供の健やかな育ちの保障と安心・安全な子育て環境づくりを推進していくものである。



浦崎 暁 議員

本市独自の成年後見人制度について

①同制度設置の必要性についての認識。②設置に向けた取組やスケジュールを伺う。
市長 ①判断能力が不十分な認知症高齢者や知的障がい者、その他の精神上に障がいがある者が財産管理や身上監護における必要な保護であり、今後とも認知症高齢者等の増加が見込まれることから、成年後見人制度の支援体制の整備が必要であると感じている。②成年後見人制度を市として取り組んでいくため、利用促進に係る計画を令和2年度に策定する高齢者福祉計画の中に盛り込み、計画的に推進していく予定である。また、他市町村の取組を調査研究し、中核機関の設置についても検討していく。
浦崎 具体的な計画は、今後計画される第8期糸満市老人



より充実した成年後見人制度の創設を

福祉計画及び介護保険事業計画に盛り込んでいくのか。
福祉部長 第8期計画の中で、成年後見人制度や中核機関の設置、配置状況等も含め検討していきたい。
浦崎 第7期計画では、高齢者福祉施策として権利擁護相談の充実がうたわれている。地域包括支援センターの専門職員による相談を充実させるとともに、関係機関との連携を密にして権利擁護や成年後見等に関する相談の充実を努めている。さらに今後、中核機関の設置が求められてくるので、社協など関係機関と連携して、現実的に成年後見人制度をつくってほしい。



西平 賀雄 議員

字喜屋武のカーン浜池問題について

①同池の問題について、その後の状況について。②「施設貸付け等の工程表」のとおり進められているか伺う。
経済部長 ①昨年、喜屋武自治会より嘆願書及び要請書を受け、糸満漁協への承諾、放流水の水質検査など必要な諸手続を行い、ため池の水抜きを11月に実施した。しかし、その後の降雨により池底に水がたまっている状態になっているため、水中ポンプを使用して水抜き作業を行っている。②貸付け要件としては、他目的使用を前提に関係機関との調整が必要であり、早期に事務手続を終える予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の影響により調整が中断していた。6月に入り、県との調整を再開したが、当初の工程より遅れ



喜屋武のカーン浜池

ている。
西平 きちんと予算を組んで、同池をきれいにしていく必要があると思うが、その後、使用できるのであればこの池を活用していく考えはないか。
経済部長 土砂、水の処理については、今後予算も含めて検討していきたい。ほかの目的使用については業者から申請は出ているが、その辺は状況を見ながら考えていきたい。
西平 県、国との調整を今後積極的に進める考え方を持っているか。
経済部長 コロナの影響で中止となっていたが、今回こちらから呼びかけて動き出した状況である。できるだけ国の方にも呼びかけていきたい。



新垣 安彦 議員

新型コロナウイルス等 感染症拡大防止対策に ついて

①特別定額給付金について市長の見解を伺う。②本市の対象世帯及び対象人数を伺う。③給付金の給付状況について伺う。④経済対策について、市内飲食店応援等商品券事業について伺う。

総務部長 ①新型コロナウイルス等対策特別措置法での緊急事態宣言の下、生活維持に必要な場合を除き外出が自粛され、経済活動が急激に低下し、家計へのダメージが大きくなる中、感染拡大防止へも留意しつつ、簡素な仕組みで迅速かつ的確に家計への支援を行う今回の特別定額給付金制度は、真に市民の生活に寄り添った意義深い制度だと感じている。②本市の対象世帯及び対象人数については、6月23日現在2万7271世



市役所に設置された特別定額給付金窓口

帯、6万2292人が対象となっている。③給付金の給付状況については、6月23日現在2万5347世帯、92.9%、5万9240人、95.1%の給付を終えている状況である。

経済部長 ④新型コロナウイルス感染症で甚大な影響を受けている市内飲食店の支援を行うことを目的に7000円分の商品券を5000円で販売し、登録した市内飲食店で利用できるもので、差額2000円を市が負担する内容となっている。



国吉 武光 議員

生活保護について

福祉Gメンの配置を考えていないか。

市長 福祉Gメンについては、必要性は認識している。福祉Gメンの配置も含め、ケースワーカーの負担が軽減できるよう職員が配置できるか、総合的に判断していきたい。

国吉 職員が勤務時間外に確認したい事項があると思う。パチンコ店への出入り、また生活保護を受給しながら別のアルバイトをしているとの情報を聞く。その場合、どのように対処しているか。

福祉部長 市民からの通報や定期訪問でそういった状況にある場合については、随時訪問や役所へ来庁してもらい事情聴取を行うなどの対応をしている。時間外においても訪問しないといけないケースに



福祉Gメンの配置で職員の負担軽減を

については対応している。
国吉 一番の問題は5時以降、勤務時間以外の対応だと思ふ。職員で対応できない場合もあるので、福祉Gメンが必要である。配置することで職員が精神的に安心して仕事ができると思うがどうか。
福祉部長 ケースワーカー11名、嘱託職員13名を配置している。面接相談員、就労支援員を含めいろんな調査員がいる。福祉Gメンも含めてケースワーカーの負担が軽減できる配置ができないか総合的に判断していきたい。
国吉 汗水流して働いて税金を納める人の身になって考えてもらいたい。行政においても福祉Gメンは必要だと思う。

糸満市議会のホームページで本会議の映像が視聴できます。

糸満市のホームページから糸満市議会の本会議（ライブ・録画）を視聴することができます。詳しくは市議会のホームページに掲載されますので、御確認ください。また、過去の会議録の検索・閲覧や議会だよりについても掲載されておりますので御利用ください。

市議会HPアドレス <https://www.city.itoman.lg.jp/bunya/gikai/>

